

資料9

報道発表資料
平成27年6月15日
気 象 庁

第132回火山噴火予知連絡会
御嶽山の火山活動に関する検討結果

御嶽山の火山活動は低下した状態が継続しています。噴煙活動や地震活動は続いており、今後も火口周辺に影響を与える小規模な噴火が発生する可能性があります。

御嶽山では、昨年（2014年）10月中旬以降、噴火は観測されていません。噴煙は噴火直後に比べて減少した状態で経過しています。火山性微動は昨年12月以降観測されていません。

火山性地震は減少していますが、昨年8月以前の状態には戻っていません。

地殻変動観測では、火山活動の高まりを示す変化は観測されていません。

以上のように、御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年10月中旬以降噴火が発生していないことから、昨年9月27日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年9月27日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できません。

火口周辺では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。